

PRIMERGY オプション製品

システム構成図 (留意事項編)

本文中のOS名称は、次のように略して表記します。

OS名	略称	
Windows Server® 2012 Standard	WS12S	Windows
Windows Server® 2012 Datacenter	WS12D	
Windows Server® 2012 Foundation	WS12F	
Windows® Small Business Server 2011 Essentials	SBS11E	
Windows Server® 2008 R2 Standard	WS08RS	
Windows Server® 2008 R2 Enterprise	WS08RE	
Windows Server® 2008 R2 Datacenter	WS08RD	
Windows Server® 2008 R2 Foundation	WS08RF	
Windows Server® 2008 Standard (64-bit)	WS08S-64	
Windows Server® 2008 Enterprise (64-bit)	WS08E-64	
Windows Server® 2008 Datacenter (64-bit)	WS08D-64	
Windows Server® 2008 Foundation (64-bit)	WS08F-64	
Windows Server® 2008 Standard (32-bit)	WS08S-32	
Windows Server® 2008 Enterprise (32-bit)	WS08E-32	
Windows® Web Server 2008 R2	WS08RW	
Windows® Web Server 2008 (64-bit)	WS08W-64	
Windows® Web Server 2008 (32-bit)	WS08W-32	
Windows® HPC Server 2008 R2	WS08RH	
Windows Server® 2008 HPC Edition (32-bit)	WS08H-32	
Windows® Small Business Server 2008 Standard	SBS08S	
Windows® Small Business Server 2008 Premium	SBS08P	
Windows Server® 2003 R2 Standard Edition/ Standard x64 Edition	WS03RS/Sx64	
Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition/ Enterprise x64 Edition	WS03RE/Ex64	
Windows Server® 2003 R2 Datacenter Edition/ Datacenter x64 Edition	WS03RD/Dx64	
Windows Server® 2003 Standard Edition/ Standard x64 Edition	WS03S/Sx64	
Windows Server® 2003 Enterprise Edition/ Enterprise x64 Edition	WS03E/Ex64	
Windows Server® 2003 Datacenter Edition/ Datacenter x64 Edition	WS03D/Dx64	
Windows Server® 2003 Web Edition (32-bit)	WS03W-32	
Windows Server® 2000 Server/ Advanced Server	WS00S/AS	
Windows Server® NT 4.0 Server	WSNT4S	
Windows® 7 Home Premium	W7HP	
Windows® 7 Professional	W7P	
Windows® 7 Enterprise	W7E	
Windows® 7 Ultimate	W7U	
Windows Vista® Home Basic	WVHB	Linux
Windows Vista® Professional	WVHP	
Windows Vista® Business	WVB	
Windows Vista® Enterprise	WVE	
Windows Vista® Ultimate	WVU	
Windows® XP Professional x64 Edition	WXPPx64	
Windows® XP Professional	WXPP	
Red Hat Enterprise Linux 6 (for Intel64)	RHEL6(Intel64)	
Red Hat Enterprise Linux 6 (for x86)	RHEL6(x86)	
Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)	RHEL5(Intel64)	
Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)	RHEL5(x86)	VMware
Red Hat Enterprise Linux ES/AS (v.4 for x86/v.4 for EM64T)	RHEL ES/AS4(x86/EM64T)	
Red Hat Enterprise Linux ES/AS (v.3 for x86)	RHEL ES/AS3(x86)	
VMware vSphere® 5 (VMware vSphere ESXi 5.0)	vS5	
VMware vSphere™ 4 (VMware ESX 4.1 / VMware ESXi 4.1)	vS4.1	
VMware vSphere™ 4 (VMware ESX 4.0)	vS4.0	

サーバ監視ソフト ServerView Operations Managerについて

ServerView Operations Managerは、ServerView Suite(SVS)に格納されているサーバ監視・管理ソフトウェアです。エージェントソフトであるServerView AgentsまたはServerView ESXi CIM Provider (標準添付)と一緒に利用することにより、それぞれ以下の機能を実現します。

〔管理サーバ用マネージャソフト〕

ソフトウェア名称	ServerView Operations Manager (SVOM)		
利用環境	Windows/Linux/VMware ESX環境	VMware ESXi 4.1環境	VMware ESXi 5.0環境
主な機能	サーバ状態情報表示(SNMP経由)	サーバ状態情報表示(CIM経由)	
	エージェントからのアラーム受信／表示	無し	可
	エージェントからのアラーム受信によるアラームアクションの実行(リモート通報サービスの提供) - インターネットメール送信 - SNMPトラップ転送 - メッセージボックス - プログラム実行 - 接続クライアントへのブロードキャスト - イベントログ記録	無し	可
	エージェントに対する各種設定 - ASR(自動復旧機能)	無し	
	パフォーマンス監視(CPU負荷率/メモリ負荷率等)	無し	
備考	本ソフトウェアは、Windows (Windows Server® 2003以降) またはLinux上にて動作します (VMwareへのインストールは不可)		

※VMware ESX/ESXiを含むシステムでSVOMを利用する場合は、別途管理サーバ(Windows/Linux上で動くサーバ、ゲストOSでも可)を準備してください。

※VMware ESXiのサーバ状態情報表示を行う場合、SVOMはバージョンV5.01.03以降をお使いください。

※VMware ESXiサーバからのアラーム受信を行う場合、SVOMはバージョンV5.30.06以降をお使いください。

※リモート通報サービスを行う場合、SVOMはバージョンV5.50.9以降をお使いください。

※サーバ異常検出時のメッセージボックスは、サーバにログインしていないと表示されません。ログインしていないときに発生した異常は、インターネットメール、SNMPトラップにて通知することができます。また、イベントログにて発生を確認することができます。

※VMware ESXi環境で利用する際には留意事項等がありますので、弊社HP (<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/>) 内、VMware留意事項を必ずご参照ください。

〔監視対象サーバ用エージェントソフト〕

ソフトウェア名称	ServerView Agents	ServerView ESXi CIM Provider	
監視対象サーバ	Windows/Linux/VMware ESXサーバ	VMware ESXi 4.1搭載サーバ	VMware ESXi 5.0搭載サーバ
主な機能	管理サーバ(SVOMインストール済)へサーバ状態情報の提供 (SNMP経由)	管理サーバ(SVOMインストール済)へサーバ状態情報の提供 (CIM経由)	
	ハードウェアのステータス変更に伴うアラーム送信	無し	ハードウェアのステータス変更に伴うアラーム送信
	ハードウェアのステータス変更に伴うイベントログ記録	無し	

※Windows/Linux/VMware ESX サーバは「SNMPトラップ」によりアラームが送信されます。VMware ESXi 5.0を搭載したサーバは「CIM Indication」によりアラームが送信されます。「CIM Indication」は、SVOMのイベントマネージャでSNMPトラップと同様に扱うことが可能です。

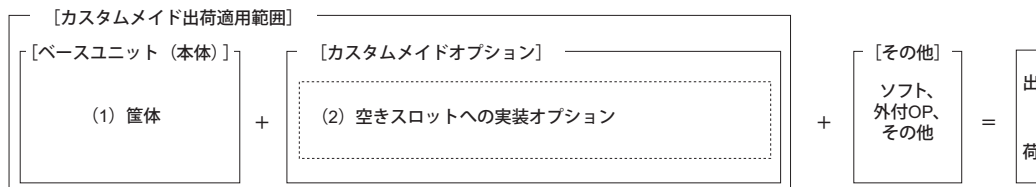
※ServerView ESXi CIM Providerについて、留意事項やインストール手順を弊社HP (<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/>) 内、VMware留意事項にて掲載していますので必ずご参照ください。

カスタムメイド出荷について

カスタムメイド出荷とは、CPU/メモリ/ディスク等のオプションをお客様の仕様に合わせて追加し、本体に実装して出荷することのできる形態です。カスタムメイド出荷により、お客様のシステム規模/予算にあった最適なシステム構成での導入が可能となります。

1. カスタムメイド出荷対象製品の製品構成について

カスタムメイド出荷対象製品の製品構成は、「ベースユニット(本体)」と「カスタムメイドオプション」から構成されます(下図参照)。それ以外の製品に関しては、製品単位で梱包されて出荷されます。



〔カスタムメイド適用製品一覧〕

(1) ベースユニット(本体)

PRIMERGY本体機種/外付オプション(ETERNUS JX40/PRIMERGY SX05 S1)が対象となります。

(2) カスタムメイドオプション: 空きスロットへの実装オプション

PRIMERGY専用の内蔵オプションが対象となります。(注: FMVとの共通製品等を除く)。

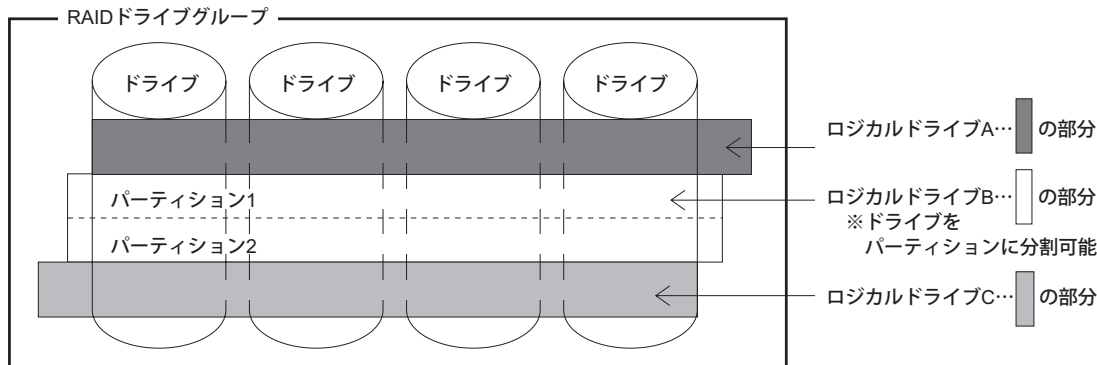
2. カスタムメイド出荷における注意事項

出荷後の機器に対しOSをインストールする際には、予定外の装置に間違えてOSがインストールされることを事前に防ぐため、OSインストール先の内蔵ストレージ以外のオプション装置(内蔵HDD/SSD、内蔵/外付バックアップ装置、光磁気ディスクユニット等)を一旦取り外し、OSインストール終了後に再接続する必要があります。カスタムメイド手配時にはご注意願います。

内蔵ストレージ関連事項

ディスクアレイ構成の考え方

- RAIDドライブグループ・・・1つのRAIDを構成する物理的なストレージの集まり。
- ロジカルドライブ・・・OSがドライブとして認識できるドライブ。
- パーティション・・・OSで設定するロジカルドライブを分割したアクセス論理単位。



＜構成規則について＞

- RAIDドライブグループは、必ず同じ型名の内蔵ストレージで構成してください。
- 同一RAIDグループ内のロジカルドライブは、同一のRAIDレベルとなります。
- ブートロジカルドライブのサイズは、2TB未満に設定してください。
ロジカルドライブの最大サイズは、インストールする各OSの制限に準じます。
- 1つのRAIDドライブグループを構成する内蔵ストレージの台数は、以下のとおりです。

•RAID0	(性能向上のために、データを複数ドライブへ分割して書込む方式)	1～32台	ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の総和
•RAID1	(信頼性向上のために、ドライブを二重化し同一データを書込む方式)	2台	ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2
•RAID1E	(信頼性向上のために、データを二重化かつ分割して書込む方式)	4～32台 (偶数台のみ構成可能)	ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2
•RAID1+0	(信頼性向上のために、データを二重化かつ分割して書込む方式)	4～16台 (偶数台のみ構成可能)	ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2
•RAID5	(信頼性向上のために、データを分割しパリティを加えて書込む方式)	3～32台	ロジカルドライブの実効データ容量は(接続したドライブ台数-1)台分
•RAID5+0	(信頼性向上のために、RAID5のデータを分割(RAID0)し複数ドライブに書き込む方式)	6～256台	ロジカルドライブの実効データ容量は(RAID5構成のドライブ台数-1)×ストライピング数
•RAID6	(信頼性向上のために、データを分割し2つのパリティを加えて書込む方式)	3～32台	ロジカルドライブの実効データ容量は(接続したドライブ台数-2)台分
•RAID6+0	(信頼性向上のために、RAID6のデータを分割(RAID0)し複数ドライブに書き込む方式)	6～256台	ロジカルドライブの実効データ容量は(RAID6構成のドライブ台数-2)×ストライピング数

※右記のストレージコントローラにおいては、3台以上でRAID1Eを組むことができます。(PY-SC1L4/SC1L8)

- 1つのストレージコントローラに複数のRAIDドライブグループを作成することが可能です(異なるRAIDレベルも可能)。使用するストレージコントローラごとに作成可能なRAIDドライブグループ数、ロジカルドライブ数が異なります。詳細については、下表をご確認ください。

ストレージコントローラ	型名	RAIDドライブグループ数	ロジカルドライブ数		1カード当たり
			1RAIDドライブグループ当たり	左記以外のRAIDレベル	
オンボードSATAコントローラ オンボードSATAコントローラ拡張オプション	標準搭載/ PY-RLSE01	4	1	8	8
SASコントローラカード	PY-SC1L4/PY-SC1L8	2	-	2	2
SASアレイコントローラカード SASアレイコントローラモジュール	PY-SR2L2 PY-SRD14	8	1	16	16
SASアレイコントローラカード	PY-SR2C2/PY-SR2W0	8	1	16	64
SASアレイコントローラカード SASアレイコントローラモジュール	PY-SR3C3/PY-SR3C32/ PY-SR3PR PY-SRD24	8	16	16	64

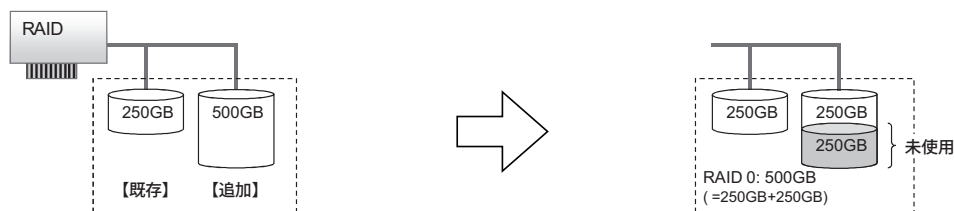
(*1) 構成可能なRAIDレベルは使用するストレージコントローラの仕様に基づきます。

- ホットスワップディスクはディスクグループ中に接続されている同型名の内蔵ストレージで設定してください。異なる内蔵ストレージを使用した複数のディスクグループが存在する場合は、各々のディスクグループに対して、同型名のホットスワップを最低1台設定する必要があります。

異なる容量のSATAハードディスクドライブ増設時のアレイ構築について

- アレイ構築の際、ディスクグループ内のドライブには同一型名品の使用を推奨していますが、以下の点を留意いただくことで異なる容量のドライブによるアレイ構築が可能です。

(1) RAID0 or RAID1の場合



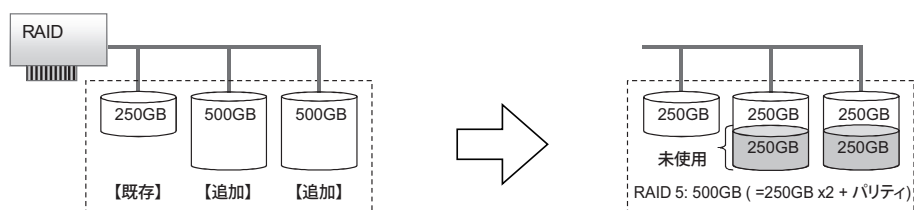
ストレージコントローラの仕様として、アレイを構成するために指定したドライブ中 (RAIDドライブグループ)、最小容量となるドライブの容量をベースにロジカルドライブが構築されます。

既存ドライブが250GB、追加するドライブの容量が500GBの場合、追加ドライブ中の250GBのみが、ロジカルドライブとして使用されます。

このため、RAID0(ストライピング)を指定した場合には、最大500GBのロジカルドライブが、RAID1(ミラー)を指定した場合、最大250GBのロジカルドライブが構築できます。

追加ドライブの残り250GBは、未使用となりロジカルドライブとして使用できません。

(2) RAID5の場合



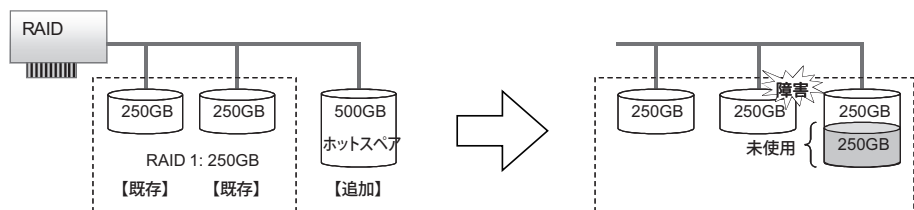
既存ドライブ250GBに、2台の500GBドライブを追加しRAID5を構築する場合も、上記のRAID0、1を構築する場合と同様に、最小容量のドライブ(250GB)をベースにロジカルドライブが構築されます。

このため、RAID5を指定した場合、最大500GBのロジカルドライブを構築できます。

追加ドライブの残り250GBは、未使用となりロジカルドライブとして使用できません。

- 異なる容量のドライブを追加した場合でも、大きな容量のドライブに未使用となる領域ができますが、同一容量のドライブを使用した場合と同様なロジカルドライブを構築することができます。

(3) ホットスペアドライブとして追加した場合



250GBのドライブ2台によるRAID1(ミラー)に、ホットスペアドライブとして500GBドライブを設定した場合、障害が発生した際は、スペアドライブ中の250GBを使用してリビルドが行われます。残り250GBは未使用となります。

消耗品の扱いについて

以下のストレージコントローラに搭載されているバッテリーは消耗品となります。

寿命の際は、お客様による手配交換となりますのでご注意ください。

本寿命は温度環境が25℃の場合であり、温度環境によって寿命は変動いたします。

※RAS支援サービスや交換予告通知設定による事前予告が通知された場合、6ヶ月以内に交換をお願いいたします。

※バッテリーの交換作業を、お客様に代わって指定のサービスエンジニアが行うサービスとして、「SASアレイコントローラカードバッテリー交換作業 代行サービス」をご用意しております。

詳細については弊社HP (<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/service/>) を参照ください。

消耗品(バッテリー)搭載アレイコントローラカード			交換用バッテリー		
	型名	寿命	品名	型名	希望小売価格 (税別)
SASアレイコントローラカード	PG-248KL PGB248KL	約3年	⇒	バッテリーバックアップユニット	PG-BBU5 23,000円
バッテリーバックアップユニット [SASアレイコントローラカード搭載用オプション]	PY-BBR01 PYBBBR01 PYBBBR02 PYBBBR03		⇒	バッテリーバックアップユニット	PY-BBR01 23,000円
バッテリーバックアップユニット [SASアレイコントローラカード搭載用オプション]	PY-BBR04 PYBBBR04 PYBBBR05		⇒	バッテリーバックアップユニット	PY-BBR04 23,000円
バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラ拡張ボード)	PYBBBD02		⇒	バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラ拡張ボード)	PY-BBD02 23,000円

メモリ関連事項

OSにおける最大CPU数/使用可能メモリ容量について

OSにより使用可能なメモリ容量が異なりますので、ご注意願います。使用可能メモリ容量は以下の通りです。
(搭載可能なメモリ容量およびサポートOSは機種により異なります。)

OS略称	最大CPU数 (*1)	使用可能メモリ容量
WS12S	(~64)	4TB
WS12D	(~64)	4TB
WS12F	(~1)	32GB
SBS11E	(~2)	32GB
WS08RS	(~4)	32GB(*2)
WS08RE	(~8)	2TB (*3)
WS08RD	(~64)	2TB (*3)
WS08RF	(~1)	8GB (*4)
WS08S-64	(~4)	32GB
WS08E-64	(~8)	1TB
WS08D-64	(~64)	1TB
WS08S-32	(~4)	4GB (*5)
WS08E-32	(~8)	64GB
WS08RW	(~4)	32GB
WS08W-64	(~4)	32GB
WS08W-32	(~4)	4GB
WS08RH	(~4)	128GB
SBS08S	(~4)	32GB
SBS08P	(~4)	32GB
RHEL6(Intel64)	~80	1.5TB
RHEL6(x86)	~32	12GB
RHEL5(Intel64)	~80	1TB
RHEL5(x86)	~32	12GB
vS5	160	32GB (*6) / 2TB
vS4.1	128	256 GB / 1TB (*7)
vS4.0	64	256 GB / 1TB (*7)

(*1) ハイパースレッディング・テクノロジー機能による論理CPU、デュアルコアCPU、クアッドコアCPU、6コアCPU、8コアCPU、10コアCPUのCPUコアをCPUの数としてカウントします。()内は物理CPU数です。

(*2) Windows Server® 2008 R2 Standardインストールオプション選択時にカスタムメイドにて増設可能なメモリ容量は32GBまでです。

(*3) 物理メモリを1TB以上搭載する場合、Windows Server 2008 R2 SP1を適用してください。

SP1を適用できない場合、マイクロソフト社セキュリティ更新プログラムKB980598を適用してください。

(*4) Windows Server® 2008 R2 Foundationインストールオプション選択時に、カスタムメイドにて増設可能なメモリ容量は8GBまでです。

(*5) Windows Server® 2008 Standard (32-bit)インストールオプション選択時に、カスタムメイドにて増設可能なメモリ容量は4GBまでです。

(*6) 無償のライセンスを使用する場合は、最大使用可能メモリ容量は32GBになります。

(*7) 256GBを超える物理メモリを使用する場合は、Enterprise Plus エディションが必要です。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

バックアップ装置関連事項

バックアップ装置のサポートOSと使用するソフトウェア一覧

■ OS標準バックアップユーティリティ対応表

バックアップ装置 装置型名 規格			Windows系										Linux系	
			適用OS バックアップ ユーティリティ	WS08S/E-32 WS08S/E/D-64	WS08W-32/64	WS08RS/E/D	WS08RF	WS08RW	WS08RH	SBS11E	WS12S/D	WS12F	RHEL5(x86) RHEL5(intel64)	RHEL6(x86) RHEL6(intel64)
			規格	Windows Server Backup										Linux Command
RDX 装置	PY-RD101	RDX		×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
	PY-RD102			×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
	PY-RD103			×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
LTO 装置	PY-LT301	LTO Ultrium3		×	×	×	×	×	×	×	×	×	○(*1)	○
	PY-LT411		LTO Ultrium4	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○(*1)	○
	PY-LT511		LTO Ultrium5	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○(*1)	○
DAT 装置	PY-DT201	DAT160		×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
	PY-DT202			×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
	PY-DT101	DAT72		×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
	PY-DT102			×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
	PY-DT103			×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○

○:対応 ×:未対応 ●:対応(ただし、バックアップ装置のデバイスドライバの適用が必要)

(*1) RX300 S7/RX350 S7/TX150 S8/TX200 S7/TX300 S7で、RHEL5.8を使用する場合、本機種内蔵のLTO装置は非サポートとなります。

留意事項

- OS標準のバックアップユーティリティを使用した場合、バックアップ装置の性能を十分に引き出せないことがあります。性能を重視する場合は、PRIMERGY用バックアップ装置をサポートするバックアップソフトウェアをご使用になることをお勧めいたします。
- Windows OSをご使用になる場合は、別途バックアップソフトウェアをご購入ください。
- Linuxコマンドをご使用になる場合は、tar、cpio、ddをご使用ください。

■ ARCserve for Windows対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とARCserve for Windowsの対応について記します。

なお、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とARCserve for Windowsの最新情報や使用上の注意につきましては、下記をご参照ください。

弊社HP(<http://software.fujitsu.com/jp/arcserve/>)

バックアップ装置 装置型名 規格			適用OS ARCserve 版数		WS08S/E-32 WS08S/E/D-64		WS08RS/E/D		WS08RF		WS08RW		WS12S/D		WS12F	
					CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r16	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r16	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r16	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r16	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r16	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r16
RDX 装置	PY-RD101	RDX			○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	PY-RD102				○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	PY-RD103				○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×
LTO 装置	PY-LT301	LTO Ultrium3			○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	PY-LT411		LTO Ultrium4		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	PY-LT511		LTO Ultrium5		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
DAT 装置	PY-DT201	DAT160		●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	×
	PY-DT202			●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	×
	PY-DT101	DAT72		●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	×
	PY-DT102			●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	×
	PY-DT103			●	●	●	●	×	×	●	●	●	×	×	×	×

○:対応 ×:未対応 ●:対応(ただし、バックアップ装置のデバイスドライバの適用が必要)

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ NetVault Backup for Windows対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Windowsの対応について記します。

なお、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Windowsの最新情報や使用上の注意につきましては、下記をご参照ください。
 弊社HP(<http://software.fujitsu.com/jp/netvault/>)

バックアップ装置 適用OS NetVault Backup 版数			WS08S/E-32				WS08S/E/D-64				WS08RS/E/D				WS08RF				WS12S/D				WS12F			
			NetVault Backup 8.2	NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6 / 8.6.3	NetVault Backup 8.2	NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6 / 8.6.3	NetVault Backup 8.2	NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6 / 8.6.3	NetVault Backup 8.2	NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6 / 8.6.3	NetVault Backup 8.2	NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6 / 8.6.3	NetVault Backup 8.2	NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6 / 8.6.3
RDX 装置	PY-RD101	RDX	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
	PY-RD102		×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
	PY-RD103		×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
LTO 装置	PY-LT301	LTO Ultrium3	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
	PY-LT411	LTO Ultrium4	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
	PY-LT511	LTO Ultrium5	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
DAT 装置	PY-DT201	DAT160	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
	PY-DT202		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
	PY-DT101	DAT72	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
	PY-DT102		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
	PY-DT103		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-	-	-	-	×	×	×	×	×	×	×	×

○ : 対応 × : 未対応 - : OS組合せなし

■ Backup Exec対応表

PRIMERGYシリーズに接続されているバックアップ装置とBackup Execの対応について記します。

なお、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とBackup Execの最新情報や使用上の注意につきましては、下記をご参照ください。
 弊社HP(<http://software.fujitsu.com/jp/symantec/>)

適用OS Backup Exec版数			WS08S/E-32		WS08S/E/D-64		WS08RS/E/D		WS08RF		WS12S/D/F	
			Backup Exec 2010(*3)	Backup Exec 2012	Backup Exec 2010(*3)	Backup Exec 2012	Backup Exec 2010(*3)	Backup Exec 2012	Backup Exec 2010(*3)	Backup Exec 2012	Backup Exec 2010(*3)	Backup Exec 2012
バックアップ装置 RDX 装置	装置型名	規格										
	PY-RD101	RDX (*1)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
	PY-RD102		○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
PY-RD103	○		○	○	○	○	○	×	×	×	×	
LTO 装置	PY-LT301	LTO Ultrium3	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	PY-LT411	LTO Ultrium4	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	PY-LT511	LTO Ultrium5	○(*2)	○	○(*2)	○	○(*2)	○	×	×	×	×
DAT 装置	PY-DT201	DAT160	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×
	PY-DT202		◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×
	PY-DT101	DAT72	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×
	PY-DT102		◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×
	PY-DT103		◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×

○ : 対応 × : 未対応 ◎ : 対応 (ただし、弊社提供のUSBドライバの適用必須)

(*1) RDXをまたがるシステムバックアップは未サポート

(*2) テープをまたがるシステムバックアップは未サポート

また、シマンテック社提供のデバイスドライバ(DI20100515以降の適用必須 (Backup Exec 2010 R2, R3をご使用の場合は不要

(*3) Backup Exec 2010 R3以降を使用することを推奨

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ NetVault Backup for Linux対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Linuxの対応について記します。

なお、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Linuxの最新情報や使用上の注意につきましては、下記をご参照ください。

弊社HP(<http://software.fujitsu.com/jp/netvault/>)

バックアップ装置 適用OS NetVault Backup 版数 装置型名 規格			RHEL5(x86)				RHEL5(Intel64)				RHEL6(x86)				RHEL6(Intel64)	
			NetVault Backup 8.2	NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6 / 8.6.3	NetVault Backup 8.2	NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6 / 8.6.3	NetVault Backup 8.2	NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6 / 8.6.3	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6 / 8.6.3
RDX 装置	PY-RD101	RDX	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○
	PY-RD102		×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○
	PY-RD103		×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○
LTO 装置	PY-LT301	LTO Ultrium3	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	PY-LT411	LTO Ultrium4	○(*1)	○(*1)	○(*1)	○(*1)	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	PY-LT511	LTO Ultrium5	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
DAT 装置	PY-DT201	DAT160	-	-	-	-	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	PY-DT202		-	-	-	-	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	PY-DT101	DAT72	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	PY-DT102		×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	PY-DT103		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○

○:対応 ×:未対応 -:OS組合せなし

(*1) RX300 S7/RX350 S7/TX150 S8/TX200 S7/TX300 S7にて、RHEL5.8を使用する場合、本機種内蔵のLTO装置は非サポートとなります。

Windows関連事項

Windows Server OSの使用権について

- Windows Server® 2012 / 2008 R2 / 2008のライセンスにはダウンロード権があります。
旧バージョンのWindows Server OSを購入されたお客様は、ライセンス製品の購入時にSoftware Assuranceも併せて購入した場合、契約有効期間内であれば最新バージョンのWindows Server OSを使用する権利があります。
- Windows Server OSをダウンロードする場合は、同一エディション間でのみダウンロード可能となります。
例えば、Windows Server® 2008 StandardをWindows Server® 2003 R2へダウンロードする場合は、Windows Server 2003® R2, Standard Editionへダウンロード可能です。(Windows Server® 2003, Standard Edition/Windows Server® 2000へも可能)
Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition等Enterprise Editionへダウンロードすることはできません。
- ダウンロード権を行使する場合、お客様がダウンロードして使用するバージョンのメディアとプロダクトキーを所有している必要があります。
(なお、他のPRIMERGYに添付されているメディアを使用し、再インストールおよび再認証する場合、基本的にプロダクトキーは必要ありません。)
- Windows Server® 2008 R2 / 2008は下位エディションを使用する権利を持ちます。(Datacenter>Enterprise>Standard)
例えば、Windows Server® 2008 R2 Enterpriseのライセンスを使用してWindows Server® 2008 R2 / 2008 Standard, Windows Server® 2003 R2 / 2003, Standard Edition, Windows Server 2003 R2 / 2003, Standard x64 Editionを使用することが可能です。
Standard Editionについては、同一エディションのみダウンロードが可能です。

工場出荷時のWindows OSオプションの提供方法について

- 選択するOSオプション型名に応じて、インストール//バンドル(OS媒体添付)を選択可能です。
- Windows Server® 2012 / Windows Server® 2008 R2は、64bit版のみの提供となります。
- Windows Server® 2008 は32bit版、64bit版の提供となり、双方の媒体が標準添付されております。

Windows Server® 2008へのダウンロードサービスについて

- 本サービスは、Windows Server® 2008 R2に付与されているダウンロードの権利に基づき、お客様がWindows Server® 2008をご利用になる際、OS媒体の用意やインストールなどの環境構築作業を、お客様からのご要望を受けて富士通が代行するサービスです。
- Windows Server® 2008へのダウンロードサービス付き製品
 - (1) 本製品には、Windows Server® 2008 R2のOS媒体に加え、Windows Server® 2008 (32-bit, 64-bit) のOS媒体も同梱されます。
さらに、モデルやタイプによっては、Windows Server 2008 (32-bit) のインストール作業を代行します。
 - (2) 製品貼り付けのCOAシール(Product Keyが記載されているシール)は、Windows Server® 2008 R2用となります。Windows Server® 2008には使えません。
CAL(クライアントアクセスライセンス)等は、Windows Server® 2008 (32-bit, 64-bit) でも使用することができます。
 - (3) 本製品添付のOS媒体を使用し、ServerView Installation Manager/ServerStart (セットアップ支援ツール) にてインストールする場合、Product Keyの入力は不要です。
入力領域が2回表示されますが、2回とも何も入力せずに次へと進んでください。
また、本製品添付のOS媒体を使用し、再インストールする場合、Product Keyは要求されません。
 - (4) 本製品にはWindows Server® 2008 R2のOS媒体が同梱されるため、Windows Server® 2008から切り替えての使用が可能です。
ただし、各製品のサポートOS情報にてWindows Server® 2008 R2の動作状況をご確認の上、ご適用ください。

Windows OSのインストールについて

- OSインストール実施には、ODDドライブが必要となります。内蔵ODDを搭載しない場合は、複数台システムに最低1台、別途スーパーマルチドライブユニット(FMV-NSM53)を手配する必要があります
- Windows Server® 2012 / 2008 R2 / 2008 をインストールするためには、32GB以上の論理ボリュームが必要となります。

Windows OSサポートについて

- お客様のシステムの安定稼働と円滑な保守を支援するため、豊富な経験に基づく充実したWindowsサポートサービス「SupportDesk」です。
専門技術者によるWindows OSサポート(電話によるQ&A対応/問題解決支援など)、Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/サービス対応履歴など)を行います。
提供ラインナップ詳細は下表の通りです。

	現行	【今回新規提供】
	SupportDesk Standard (Windows Server)	SupportDesk Standard (Windows Server 仮想化対応)
サービス期間	3年/4年/5年	3年/4年/5年
サービス時間帯	平日/24H	平日/24H
サポート対象範囲	ホストOS	ホストOS/ゲストOS
ホスト対象OS(*1)	• Windows Server 2012 / 2008 R2 / 2008 Standard	• Windows Server 2012 / 2008 R2 / 2008 Standard • Windows Server 2008 R2 / 2008 Enterprise • Windows Server 2012 / 2008 R2 / 2008 Datacenter
ゲスト対象OS	-	富士通でサポート可能なホストOS/ゲストOSの組み合わせに限る(*2)
サービス内容	• 専門技術者によるWindows OSサポート (電話によるQ&A対応/問題解決支援など) • Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/ 運用ノウハウ/サービス対応履歴など	• 専門技術者によるWindows OSサポート (電話によるQ&A対応/問題解決支援など) • Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/ 運用ノウハウ/サービス対応履歴など

(*1) サポート可能なOSは使用するサーバのサポートOSに準じます。

(*2) 詳細については、システム構成図「各OSの仮想化機能について」をご参照ください。

Windows OSの留意事項について

- 留意に関する最新情報は、弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/windows/>)をご確認ください。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

Linux関連事項

SupportDesk Standard/Standard24(Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 1ゲスト/4ゲスト)について

・お客様のシステムの安定稼働と円滑な保守を支援するため、豊富な経験に基づく充実したLinuxサポートサービス「SupportDesk」です。専門技術者による問題解決支援、お客様専用ホームページでのLinuxの修正パッチや安定稼働の方法について情報提供を行います。また、Red Hat Networkのサブスクリプション（利用権）が含まれています。提供ラインナップ詳細は下表の通りです。

SupportDesk Standard(Red Hat Enterprise Linux 基本サポート)		
		2CPU/1ゲスト
サービス期間		1年/3年/4年/5年
サービス時間帯		平日/24H
サポート範囲	CPU数 (Socket数)	～2
	ゲストOS数	～4
サポートOS(*1)(*2)		・ Red Hat Enterprise Linux
サービス内容		・ 専門技術者によるLinux OSサポート (電話によるQ&A対応/問題解決支援など) ・ Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/サービス対応履歴など) ・ プロダクトIDの入手手続き代行

(*1) 対象版数については、弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html>)を参照ください。
(*2) 仮想環境におけるサポートOSの組合せについては、システム構成図「各OSの仮想化機能について」をご参照ください。

・ サービス開始にはお客様登録が必要です。なお、お客様登録に関わらず、サービス終了日は製品出荷日を基準に決まります。お客様登録の手続きが遅れますと、サービスをご利用できる期間がご契約年数に満たなくなる場合がありますので、サーバ本体がお客様先に届きましたら速やかにお客様登録を実施して下さいませよう願いたします。

・ サービス期間終了前に次年度以降のSupportDesk契約(年額)をお願いいたします。

・ 上記以外のサポートサービス「SupportDesk」については、サービス一覧をご確認ください。

Red Hat Enterprise Linux バンドルオプションについて

・ Red Hat Enterprise Linux バンドルオプションはインストール媒体のみの提供となります。

・ サブスクリプション(利用権)の同時手配が必要となるため、SupportDesk Standard/Standard24(Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 1ゲスト/4ゲスト)との同時手配必須となります。
(Red Hat Enterprise Linux バンドルオプションのみでの手配はできません。)

・ OSはインストールされません。添付のDVD(Install DVD Kit)とServerView Suiteを用いてインストールしてください。

Linuxのサポート版数について

PRIMERGYにおいてサポート可能なLinuxのサポート版数については、弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html>)を参照ください。

Linuxシステムにおけるメモリ搭載、ファイルシステムの使用可能サイズについて

Linuxシステムではディストリビューションにより最大搭載メモリ容量、ファイルシステムの使用可能最大サイズが以下のようになります。

ディストリビューション	最大搭載メモリ容量	ファイルシステムの最大サイズ (*1)
Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)	12GB	8TB (*2)
Red Hat Enterprise Linux 6 (for x86)	12GB	8TB / 16TB (*2)
Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)	1TB	8TB (*2)
Red Hat Enterprise Linux 6 (for intel64)	1.5TB	8TB / 16TB (*2)

(*1) ファイルシステム ext3/ext4における最大サイズとなります。ext4は、RHEL6 (for x86/for Intel64)でご使用ください。
(*2) 8TBを超えて使用する場合は、RHEL6.1 (for x86/for Intel64)以降でご使用ください。
ただし、システムボリュームとして使用する場合は、2TB以下でご使用ください。

ディスクダンプ機能について

オンボードSATAコントローラ、オンボードSATAコントローラ拡張オプションにてRAID構成で使用する場合のみ、Linuxのディスクダンプ機能は使用できません。
ディスクダンプ機能を使用する場合は、他のストレージコントローラをご使用いただくか、単体接続(機種により単体接続可否は異なる)にて使用願います。

機種名	RHEL5 / RHEL6		
	オンボード(SATA/SAS)コントローラにてアレイ接続時	オンボード(SATA/SAS)コントローラにて単体接続時	左記以外のストレージコントローラ使用時
BX920 S3	×	×	○
BX924 S3	×	×	○
RX100 S7	×	○	○
RX200 S7	×	—	○
RX300 S7	×	—	○
RX350 S7	×	—	○
RX500 S7	×	—	○
RX600 S6	—	—	○
TX100 S3	×	○	○
TX120 S3	×	○	○
TX140 S1	×	○	○
TX150 S8	×	—	○
TX200 S7	×	—	○
TX300 S7	×	—	○

○:可能、×:不可、—:対象構成無し

仮想化機能について

サポート可能な仮想化機能は使用するOS、内蔵ストレージ構成により異なります。

機種名	RHEL5			RHEL6		
	オンボード(SATA/SAS)コントローラ使用時 アレイ接続時		左記以外のストレージ コントローラ使用時	オンボード(SATA/SAS)コントローラ使用時 アレイ接続時		左記以外のストレージ コントローラ使用時
	アレイ接続時	単体接続時		アレイ接続時	単体接続時	
BX920 S3	×	×	○	○	×	○
BX924 S3	×	×	○	○	×	○
RX100 S7	×	×	×	○	○	○
RX200 S7	×	-	○	○	-	○
RX300 S7	×	-	○	○	-	○
RX350 S7	×	-	○	○	-	○
RX500 S7	×	-	○	○	-	○
RX600 S6	-	-	○	-	-	○
TX100 S3	×	×	×	○	○	○
TX120 S3	×	×	×	○	○	○
TX140 S1	×	×	×	○	○	○
TX150 S8	×	-	○	○	-	○
TX200 S7	×	-	○	○	-	○
TX300 S7	×	-	○	○	-	○

○:可能、×:不可、-:対象構成無し

OSオプション、SupportDesk、複数同時選択時の組み合わせについて

OSオプションの略称、同時手配可能数について

・OSオプションの略称および手配可能数は下表の通りです。OSオプションごとの組み合わせについては、「OSオプションの組合せについて」を参照ください。

略称			品名	型名	手配可能数					
Windows	インストール	WS12S	Windows Server 2012 Standard(2CPU/2VM) インストール	PYBWPS2	1	1	4			
		WS12S (Hyper-V)	Windows Server 2012 Standard(2CPU/2VM) インストール	PYBWPS2H	1					
	バンドル	WS12S	Windows Server 2012 Standard(2CPU/2VM) バンドル	PYBWBS2	1	3	2			
		WS12S Add	Windows Server 2012 Standard Additional License(2CPU/2VM) バンドル	PYBWAS2	3					
	インストール	WS12D	Windows Server 2012 Datacenter(2CPU) バンドル	PYWBBD2	1	1	2			
	バンドル	WS12D Add	Windows Server 2012 Datacenter Additional License(2CPU) バンドル	PYBWAD2	1					
	バンドル	DCAL1	Windows Server 2012 1 Device CAL バンドル	PYBWCD01	4	1	10			
		DCAL5	Windows Server 2012 5 Device CAL バンドル	PYBWCD01	1					
		DCAL10	Windows Server 2012 10 Device CAL バンドル	PYBWCD10	4					
		DCAL50	Windows Server 2012 50 Device CAL バンドル	PYBWCD50	10					
	バンドル	UCAL1	Windows Server 2012 1 User CAL バンドル	PYBWCU01	4	1	10			
		UCAL5	Windows Server 2012 5 User CAL バンドル	PYBWCU05	1					
		UCAL10	Windows Server 2012 10 User CAL バンドル	PYBWCU10	4					
		UCAL50	Windows Server 2012 50 User CAL バンドル	PYBWCU50	10					
	インストール	WS08RS	Windows Server 2008 R2 Standard インストール	PYBWPS8	1	3	3			
	バンドル	WS08RS	Windows Server 2008 R2 Standard バンドル	PYBWBS8	3					
		WS08RE	Windows Server 2008 R2 Enterprise バンドル	PYBWBE8	2	1	2			
	バンドル	WS08RH	Windows Server 2008 R2 HPC Edition バンドル	PYWBH8H	1			1	2	
		HPC Express	Microsoft HPC Pack 2008 R2 Express バンドル	PYWBH8P	1					
		HPC Enterprise	Microsoft HPC Pack 2008 R2 Enterprise バンドル	PYWBH8E	1					
	インストール	WS08S(DG)	Windows Server 2008 R2 Standard ダウングレードサービス付き Windows Server 2008 Standard インストール	PYBWPD8	1	1				
		WS08RF	Windows Server 2008 R2 Foundation インストール	PYBWPF8	1					
	バンドル	WS12F	Windows Server 2012 Foundation(1CPU) バンドル	PYBWF2	1	1				
		WS08RD(2CPU)	Windows Server 2008 R2 Datacenter (2CPUライセンス) バンドル	PYWBBD8	1					
		WS08RD(4CPU)	Windows Server 2008 R2 Datacenter (4CPUライセンス) バンドル	PYWBBD82	1					
		WS08RF	Windows Server 2008 R2 Foundation バンドル	PYBWF8	1					
		WS08RH Suite	Windows HPC Server 2008 R2 Suite バンドル	PYWBH8S	1					
		WS08S-32(DG)	Windows Server 2008 R2 Standard ダウングレードサービス付き Windows Server 2008 Standard バンドル	PYWBBDT8	1					
		WS08S-64(DG)	Windows Server 2008 R2 Standard ダウングレードサービス付き Windows Server 2008 Standard x64バンドル	PYWBBDT82	1					
		WS08E-32(DG)	Windows Server 2008 R2 Enterprise ダウングレードサービス付き Windows Server 2008 Enterprise バンドル	PYWBBDN8	1					
		WS08E-64(DG)	Windows Server 2008 R2 Enterprise ダウングレードサービス付き Windows Server 2008 Enterprise x64バンドル	PYWBBDN82	1					
		SBS11 E	Windows Small Business Server 2011 Essentials バンドル	PYWBBS1E	1					
		SCVMM08R	WindowsSystem Center Virtual Machine Manager 2008 R2 バンドル	PYWBWSC1	1					
Linux		バンドル	RHEL6	Red Hat Enterprise Linux 6.3 バンドル	PYBLB63			1	2	4
				Red Hat Enterprise Linux 6.2 バンドル	PYBLB62			1		
	RHEL5		Red Hat Enterprise Linux 5.8 バンドル	PYBLB52	1	2				
			Red Hat Enterprise Linux 5.7 バンドル	PYBLB51	1					
VMware	バンドル	vS5S 1年 平日	VMware vSphere 5 Standard, 1CPU 1年間平日サポートバンドル	PYBVLSSSD1	4	4 (*1)				
		vS5S 1年24時間	VMware vSphere 5 Standard, 1CPU 1年間24時間サポートバンドル	PYBVLSSSA1	4					
		vS5E 1年 平日	VMware vSphere 5 Enterprise, 1CPU 1年間平日サポートバンドル	PYBVLSSSD1	4					
		vS5E 1年24時間	VMware vSphere 5 Enterprise, 1CPU 1年間24時間サポートバンドル	PYBVLSSSA1	4					
		vS5EP 1年 平日	VMware vSphere 5 Enterprise Plus, 1CPU 1年間平日サポートバンドル	PYBVLSSPD1	4					
		vS5EP 1年24時間	VMware vSphere 5 Enterprise Plus, 1CPU 1年間24時間サポートバンドル	PYBVLSSPA1	4					
	バンドル	vS5SLE 1年 平日	VMware vSphere 5 Standard Limited Edition, 1CPU 1年間平日サポートバンドル	PYBVLSSLD1	1	1				
		vS5SLE 1年24時間	VMware vSphere 5 Standard Limited Edition, 1CPU 1年間24時間サポートバンドル	PYBVLSSLA1	1					
		vS5SLE vCen 1年 平日	VMware vSphere 5 Standard Limited Edition with vCenter Foundation, 1CPU 1年間平日サポートバンドル	PYBVLSSCD1	1					
		vS5SLE vCen 1年24時間	VMware vSphere 5 Standard Limited Edition with vCenter Foundation, 1CPU 1年間24時間サポートバンドル	PYBVLSSCA1	1					
	OS管理ソフト等	vCen 1年 平日	VMware vCenter Server 5 Standard, 1年間平日サポート バンドル	PYBVLCS5D1	1	1				
		vCen 1年 24時間	VMware vCenter Server 5 Standard, 1年間24時間サポート バンドル	PYBVLCS5A1	1					
		vS5 UFM	VMware vSphere Hypervisor 5.0用 USB Flash モジュール	PYBUFV50	1					

(*1) 搭載する機器の物理CPU数までの手配となります。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

OSオプションの同時選択可否について

● OSオプションを同時選択する際、組み合わせの可否は以下のようになります。(機種により選択可能なOSオプションは異なります。)

■ Windows

OSオプション		Windows																												
		インストール					バンドル																	OS管理ソフト等						
OSオプション		WS12S	WS12S (Hyper-V)	WS08RS	WS08S (DG)	WS08RF	WS12S	WS12D	WS12F	WS12S Add	WS12D Add	WS08RS	WS08S-32(DG)	WS08S-64(DG)	WS08RE	WS08E-32(DG)	WS08E-64(DG)	WS08RD (2CPU)	WS08RD (4CPU)	WS08RH Suite	WS08RH	WS08RF	SBS11E	UCAL 1/5/10/50	DCAL 1/5/10/50	HPC Express	HPC Enterprise	SCVMM08R		
Windows	インストール	WS12S	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×		
		WS12S(Hyper-V)	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×		
		WS08RS	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○		
		WS08S(DG)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×		
		WS08RF	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	バンドル	WS12S	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×		
		WS12D	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×		
		WS12F	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
		WS12S Add	○	○	×	×	×	WS12S	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×		
		WS12D Add	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×		
		WS08RS	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	
		WS08S-32(DG)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×		
		WS08S-64(DG)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	
		WS08RE	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	
		WS08E-32(DG)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×		
		WS08E-64(DG)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×		
		WS08RD(2CPU)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	
		WS08RD(4CPU)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○		
		WS08RH Suite	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		WS08RH	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	
		WS08RF	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		SBS11E	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	OS管理ソフト等	UCAL 1/5/10/50	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	
		DCAL 1/5/10/50	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○		
		HPC Express	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×		
		HPC Enterprise	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		SCVMM08R	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	
Linux	バンドル	RHEL5 (*1)	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×		
		RHEL6 (*1)	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×		
VMware	バンドル	vESXi 1年平日	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×		
		vESXi 1年24時間	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×		
		vSE 1年平日	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×		
		vSE 1年24時間	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×		
		vSEP 1年平日	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×		
		vSEP 1年24時間	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×		
		vSLE 1年平日	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×		
		vSLE 1年24時間	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×		
		vSLE vCen 1年平日	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×		
		vSLE vCen 1年24時間	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×		
		OS管理ソフト等	vCen 1年平日	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×
			vCen 1年24時間	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×
			vS LFM	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	

○：同時手配可、×：同時手配不可

(*1) 本OSオプション選択時は、SupportDesk Standard/Red Hat Enterprise Linux 基本サポートとの同時手配必須

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ Linux/VMware

OSオプション			Linux			VMware										OS管理ソフト等			
			バンドル			バンドル													
OSオプション			RHEL 5.7 (*1)	RHEL 5.8 (*1)	RHEL 6.2/6.3 (*1)	vS5S 1年平日	vS5S 1年24時間	vS5E 1年平日	vS5E 1年24時間	vS5EP 1年平日	vS5EP 1年24時間	vS5LE 1年平日	vS5LE 1年24時間	vS5LE vCen 1年平日	vS5LE vCen 1年24時間	vCen 1年平日	vCen 1年24時間	vS5 UFM	
Windows	インストール	WS12S	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	
		WS12S(Hyper-V)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	
		WS08RS	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	
		WS08S(DG)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	
		WS08RF	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	
	バンドル	WS12S	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS12D	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS12F	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		WS12S Add	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS12D Add	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS08RS	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS08S-32(DG)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	
		WS08S-64(DG)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	
		WS08RE	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS08E-32(DG)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	
		WS08E-64(DG)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	
		WS08RD(2CPU)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS08RD(4CPU)	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS08RH Suite	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		WS08RH	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		WS08RF	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		SBS11E	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	OS管理ソフト等	UCAL1/5/10/50	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		DCAL1/5/10/50	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		HPC Express	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		HPC Enterprise	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		SCVMM08R	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
Linux	バンドル	RHEL5.7 (*1)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	
		RHEL5.8 (*1)	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		RHEL6.2/6.3 (*1)	○	○	○(*2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
VMware	バンドル	vS5S 1年平日	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	
		vS5S 1年24時間	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
		vS5E 1年平日	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	
		vS5E 1年24時間	○	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
		vS5EP 1年平日	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	
		vS5EP 1年24時間	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	
		vS5LE 1年平日	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○	
		vS5LE 1年24時間	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	○	
		vS5LE vCen 1年平日	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	
		vS5LE vCen 1年24時間	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	
	OS管理ソフト等	vCen 1年平日	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	○
		vCen 1年24時間	○	○	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○
		vS5 UFM	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

○:同時手配可、×:同時手配不可

(*1) 本OSオプション選択時は、SupportDesk Standard(Red Hat Enterprise Linux 基本サポート)との同時手配必須

(*2) 同一版数のバンドル媒体は同時手配不可

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

OSオプションとSupportDeskの同時選択可否について

- ・OSオプションとハードウェア用SupportDesk、OS用SupportDeskを同時選択する際、組み合わせの可否は以下のようになります。
(機種により選択可能なOSオプション、SupportDeskは異なります。)

OSオプション			SupportDesk	ハードウェア用SupportDesk			OS用SupportDesk														
			SupportDesk/バックライト (営業日以降訪問修理)	SupportDesk/バックライト (当日訪問修理)			SupportDesk/バック Standard / Standard24 (OSサポートなし)	SupportDesk Standard / Standard24 (Windows Server)			SupportDesk Standard / Standard24 (Windows Server 仮想化対応)			SupportDesk Standard / Standard24 (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト)				SupportDesk Standard / Standard24 (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト)			
			3年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	1年	3年	4年	5年	1年	
Windows	インストール	WS12S	○	○			○			○			○			×				×	
		WS12S(Hyper-V)	○	○			○			○			○			×				×	
		WS08RS		○			○			○			○			×				×	
		WS08(DG)	○	○			○			○			×			×				×	
		WS08RF	○	○			○			×			×			×				×	
	バンドル	WS12S	○	○			○			○			○			○				○	
		WS12D	○	○			○			×			○			○				○	
		WS12F	○	○			○			×			×			×				×	
		WS12S Add	○	○			○			○			○			○				○	
		WS12DAdd		○			○			×			○			○				○	
		WS08RS	○	○			○			○			○			○				○	
		WS08S-32(DG)	○	○			○			○			×			×				×	
		WS08S-64(DG)	○	○			○			○			×			×				×	
		WS08RE	○	○			○			×			○			○				○	
		WS08E-32(DG)	○	○			○			×			○			×				×	
		WS08E-64(DG)	○	○			○			×			○			×				×	
		WS08RD(2CPU)	○	○			○			×			○			○				○	
		WS08RD(4CPU)	○	○			○			×			○			×				×	
		WS08RH Suite	○	○			○			×			×			×				×	
		WS08RH	○	○			○			×			×			×				×	
		WS08RF	○	○			○			×			×			×				×	
		SBS11E	○	○			○			×			×			×				×	
	OS管理 ソフト等	UCAL1/5/10/50	○	○			○			○			○			○				○	
		DCAL1/5/10/50	○	○			○			○			○			○				○	
		HPC Express	○	○			○			×			×			×				×	
		HPC Enterprise	○	○			○			×			×			×				×	
		SCVMM08R	○	○			○			×			×			×				×	
Linux	バンドル	RHEL5 (*1)	×	×			○			×			○			○				○	
		RHEL6 (*1)	×	×			○			×			○			○				○	
VMware	バンドル	vSSS 1年平日	×	×			○ (*2)			×			○ (*2)			○ (*2)				○ (*2)	
		vSSS 1年24時間	×	×			○ (*2)			×			○ (*2)			○ (*2)				○ (*2)	
		vSSE 1年平日	×	×			○ (*2)			×			○ (*2)			○ (*2)				○ (*2)	
		vSSE 1年24時間	×	×			○ (*2)			×			○ (*2)			○ (*2)				○ (*2)	
		vSSEP 1年平日	×	×			○ (*2)			×			○ (*2)			○ (*2)				○ (*2)	
		vSSEP 1年24時間	×	×			○ (*2)			×			○ (*2)			○ (*2)				○ (*2)	
		vSLE 1年平日	×	×			○ (*2)			×			○ (*2)			○ (*2)				○ (*2)	
		vSLE 1年24時間	×	×			○ (*2)			×			○ (*2)			○ (*2)				○ (*2)	
		vSLE vCen 1年平日	×	×			○ (*2)			×			○ (*2)			○ (*2)				○ (*2)	
		vSLE vCen 1年24時間	×	×			○ (*2)			×			○ (*2)			○ (*2)				○ (*2)	
		OS管理 ソフト等	vCen 1年平日	×	×			○ (*2)			○ (*2)			○ (*2)			○ (*2)				○ (*2)
		vCen 1年 24時間	×	×			○ (*2)			○ (*2)			○ (*2)			○ (*2)				○ (*2)	
		vSS UFM	○	○			○			×			○			○				○	

○:同時手配可、×:同時手配不可

(*1)本OSオプション選択時は、SupportDesk Standard(Red Hat Enterprise Linux 基本サポート)との同時手配必須

(*2) VMwareのOSオプションに付帯するサポート時間帯と、同一サポート時間帯のSupportDeskを選択した場合のみ同時手配可能

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

・OS用SupportDeskを同時選択する際、組み合わせの可否は以下ようになります。(機種により選択可能なSupportDeskは異なります。)

Windows用SupportDesk		SupportDesk Standard (Windows Server)			SupportDesk Standard24 (Windows Server)			SupportDesk Standard (Windows Server 仮想化対応)			SupportDesk Standard24 (Windows Server 仮想化対応)		
Linux用SupportDesk		3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年
SupportDesk Standard (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト)	1年	×			×			○	○	○	×		
	3年							○	×	×			
	4年							×	○	×			
	5年							×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト)	1年	×			×			×			○	○	○
	3年										○	×	×
	4年										×	○	×
	5年										×	×	○
SupportDesk Standard (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト)	1年	×			×			○			×		
SupportDesk Standard24 (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト)	1年	×			×			×			○		

○:同時手配可、×:同時手配不可

・OS用SupportDeskとハードウェア用SupportDeskを同時選択する際、組み合わせの可否は以下ようになります。(機種により選択可能なSupportDeskは異なります。)

ハードウェア用SupportDesk		SupportDeskバックLite (登営業日以降訪問修理)			SupportDeskバックLite (当日訪問修理)			SupportDesk/バック Standard (OSサポートなし)			SupportDesk/バック Standard24 (OSサポートなし)		
OS用SupportDesk		3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年
SupportDesk Standard (Windows Server)	3年	×			×			○	×	×	×		
	4年							×	○	×			
	5年							×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Windows Server)	3年	×			×			×			○	×	×
	4年										×	○	×
	5年										×	×	○
SupportDesk Standard (Windows Server 仮想化対応)	3年	×			×			○	×	×	×		
	4年							×	○	×			
	5年							×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Windows Server 仮想化対応)	3年	×			×			×			○	×	×
	4年										×	○	×
	5年										×	×	○
SupportDesk Standard (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト)	1年	×			×			○	○	○	×		
	3年							○	×	×			
	4年							×	○	×			
SupportDesk Standard24 (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト)	1年	×			×			×			○	○	○
	3年										○	×	×
	4年										×	○	×
SupportDesk Standard (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト)	1年	×			×			○			×		
	3年												
	4年												
SupportDesk Standard24 (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト)	1年	×			×			×			○		
	3年												
	4年												

○:同時手配可、×:同時手配不可

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

各OSの仮想化機能について

当社サポート可能なゲストOSと各OSの組合せは下表の通りです。※各サーバにて使用可能なOSはサーバ本体のサポートOSに準じます

・VMwareでサポートしているゲストOSと対応製品条件についての最新情報は、VMwareの製品情報をご確認ください。

弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/>)を参照ください。

ゲストOS		WS12S/D	WS08S/E/D-64 WS08RS/E/D	RHEL5 (Intel64) (Xen) (*1)	RHEL6 (Intel64) (KVM)		VMware	
		Hyper-V	Hyper-V	5.1~	~6.1	6.2~	vS4	vS5
Windows	WS12S	SPなし	SPなし (*2)	×	×	確認中	確認中	確認中
	WS12D	SPなし	SPなし (*2)	×	×	確認中	確認中	確認中
	WS12F	×	×	×	×	×	確認中	確認中
	WS08RS	SPなし/SP1	SPなし/SP1 (*3)	×	×	○	○	○
	WS08RE	SPなし/SP1	SPなし/SP1 (*3)	×	×	○(*6)	○	○
	WS08RD	SPなし/SP1	SPなし/SP1 (*3)	×	×	○(*6)	○	○
	WS08RF	×	×	×	×	×	×	×
	WS08S-32/64	SPなし/SP2	SPなし/SP2 (*3)	×	×	○	SPなし/SP2	SPなし/SP2
	WS08E-32/64	SPなし/SP2	SPなし/SP2 (*3)	×	×	○(*6)	SPなし/SP2	SPなし/SP2
	WS08D-64	SPなし/SP2	SPなし/SP2 (*3)	×	×	○(*6)	SPなし/SP2	SPなし/SP2
	WS08F-64	×	×	×	×	×	×	×
	WS08RW	SPなし/SP1	SPなし/SP1 (*3)	×	×	○	×	×
	WS08W-32/64	SPなし/SP2	SPなし/SP2 (*3)	×	×	○	×	×
	WS08RH	×	SPなし (*3)	×	×	○	×	×
	WS08H-32	×	SPなし/SP1 (*3)	×	×	○	×	×
	WS03RS/Sx64	SP2	SP2 (*4)	×	×	○	SPなし/SP2	SPなし
	WS03RE/Ex64	SP2	SP2 (*4)	×	×	○(*6)	SPなし/SP2	SPなし
	WS03RD/Dx64	SP2	SP2 (*4)	×	×	○(*6)	×	×
	WS03S/Sx64	SP2	SP2 (*4)	×	×	SP2	SPなし/SP1/SP2	SPなし/SP1/SP2
	WS03E/Ex64	SP2	SP2 (*4)	×	×	SP2 (*6)	SPなし/SP1/SP2	SPなし/SP1/SP2
	WS03D/Dx64	SP2	SP2 (*4)	×	×	SP2 (*6)	×	×
	WS03W-32	SP2	SP2	×	×	SP2	×	×
	WS00S/AS	×	×	×	×	×	SP3/SP4 (*7)	×
	WSNT4S	×	×	×	×	×	SP6a	×
	W7HP	×	×	×	×	×	○	SPなし/SP1
	W7P	×	SPなし/SP1 (*3)	×	×	×	○	SPなし/SP1
	W7E	SPなし/SP1	SPなし/SP1 (*3)	×	×	×	○	SPなし/SP1
	WVHB	×	×	×	×	×	SPなし/SP1/SP2	SPなし/SP1/SP2
	WVHP	×	×	×	×	×	SPなし/SP1/SP2	SPなし/SP1/SP2
	WVB/E/U	SP2	SP2 (*4)	×	×	×	SPなし/SP1/SP2	SPなし/SP1/SP2
	WXPPx64	SP2	SP2 (*4)	×	×	×	SP2	SP2
	WXPP	SP3	SP2 (*4)	×	×	×	SP1/SP2/SP3	SP1/SP2/SP3
Linux	RHEL6(x86/Intel64)	×	×	×	○	○	○	○
	RHEL5(x86/Intel64)	×	×	~5.x (*5)	5.3~	5.3~	○	○
	RHEL ES/AS4(x86/EM64T)	×	×	4.6~	4.8~	4.8~	4.3~	×
	RHEL ES/AS3(x86)	×	×	×	3.9~	3.9~	×	×

○:サポート対象(記載のSP/版数内でのサポートとなります)、×:サポート対象外を示す。

(*1) ホストOS版数に5.4以降を使用する場合は、Intel64を使用ください。

(*2) Windows Server 2008 R2 の Hyper-V のゲストOSとして Windows Server 2012 をお使いになる場合は、KB-2744129 を適用いただく必要があります。詳細はMicrosoft社の情報をご確認ください。
Microsoft社 HP (<http://support.microsoft.com/kb/2744129>)

(*3) 1.24CPUで動作可能となります。

(*4) 1.2CPUで動作可能となります。

(*5) ゲストOS版数は、ホストOS版数のマイナーバージョンまでとなります。(例:ホストOSがRHEL5.4の場合、ゲストOSはRHEL5.4までが使用可能です。)

(*6) KVM上のWindowsゲストでは、MSCS(Microsoft Cluster Server) / MSFC(Microsoft Failover Cluster)を使用したクラスタ構成はサポート対象外となります。

(*7) Windows Server® 2000 Advanced Server を除く。

システム構成図で紹介するWeb情報

分類内容	内容/URL
PRIMERGY情報サイト	http://jp.fujitsu.com/primergy/
PRIMERGYコンフィグ（システム構成ツール）	製品ラインナップからモデルを選択し、「構成・価格」ボタンからコンフィグに入り、構成部品を選択するだけで、構成リストと価格がExcel形式で出力できます。 http://jp.fujitsu.com/primergy/
ServerView Suite ServerView Suite DVD	システムの構築、制御、最適化、保守、連携を行う、サーバ運用管理の総称です。 http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/svs/ サーバ運用管理はDVD2枚で提供され、新製品のサポートや不具合修正などで定期的に更新されます。 http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/svsdvd/
オプション選択指針 SATA HDDの選択・使用条件 USBメモリを必要とする作業	http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/harddisk/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/
OSのサポート情報、動作確認情報 Windows Linux VMware 未サポートOS情報	http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/windows/support/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/support/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/products/distribution/free-os.html
ダウンロード	最新のソフトウェア/ドライバやBIOS/ファームウェアがダウンロードできます。 http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/downloads/
ラック情報	19インチラック関連情報や他社製ラックへの搭載などの情報です。 http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/rack/
技術情報 性能情報 消費電力計算ツール	http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/performance/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/technical/calculate/
サポート情報 重要なお知らせ 製品保証ご案内 製品の販売終息と保守終了情報 セキュリティ情報	http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/note/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/repair.html http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/terminate/ http://www.fmworld.net/biz/security/
サービス情報 運用・保守サポート SupportDesk（PRIMERGY） ハードウェア組み込みサービス インフラ基本導入サービス	http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/supportdesk.html http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/service/hard-builtin/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/service/infra-basic.html
マニュアル	ServerView Suite DVD2（ServerBooks）に主要なマニュアルが格納されています。 また、モデル個別マニュアルやオプションマニュアルなどが別途あります。 http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/manual/
消耗品、データメディアの購入	DATテープ、データカートリッジ http://jp.fujitsu.com/group/coworco/services/supply/media/

[illegible]